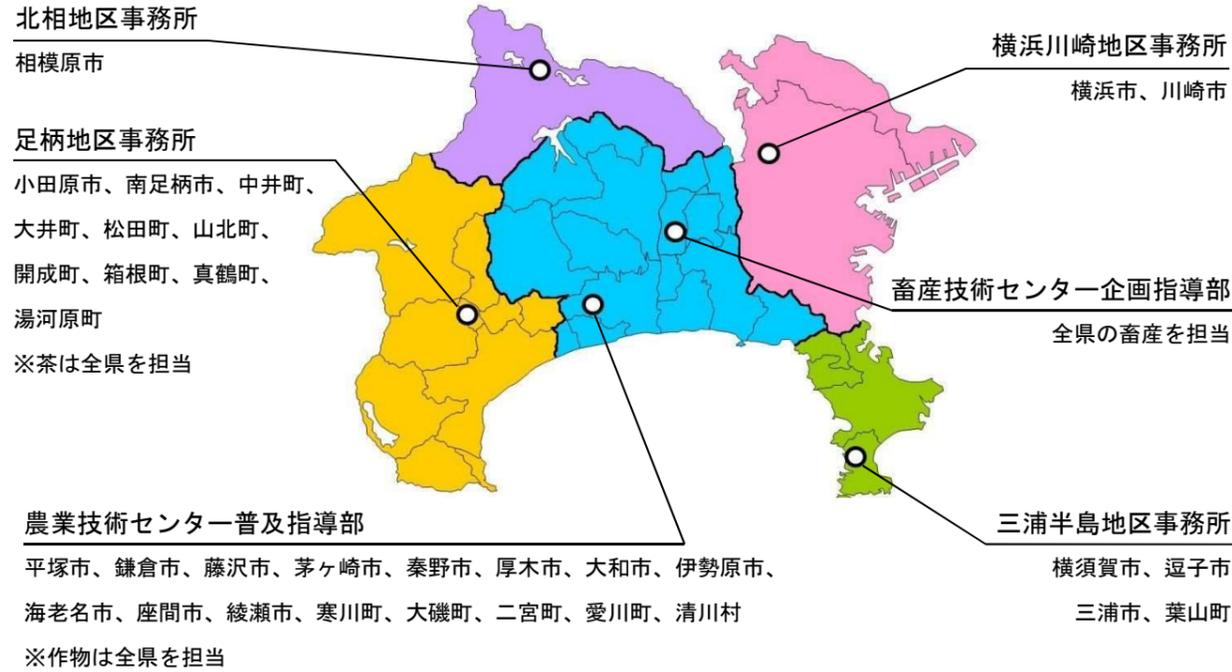


農業普及事業は、国と都道府県が協同で実施しています。海外でもアメリカや EU 諸国など各国で同様な事業が実施されています。

現在、神奈川県では、約 80 名の普及指導員が、県農業技術センターと畜産技術センターで活動しています。



■神奈川県農業技術センター

- 普及指導部 〒259-1204 平塚市上吉沢 1617
TEL 0463-58-0333(代) FAX 0463-58-4254
- 横浜川崎地区事務所 〒226-0015 横浜市緑区三保町 2076 (横浜農業合同庁舎内)
TEL 045-934-2374 FAX 045-934-2377
- 北相地区事務所 〒252-0176 相模原市緑区寸沢嵐 620-2
TEL 042-685-0203 FAX 042-685-2224
- 三浦半島地区事務所 〒238-0111 三浦市初声町下宮田 3002
TEL 046-888-3324 FAX 046-888-1509
- 足柄地区事務所 〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島 2489-2 (足柄上合同庁舎内)
TEL 0465-83-5111(代) FAX 0465-83-7214

■神奈川県畜産技術センター

- 企画指導部 〒243-0417 海老名市本郷 3750
TEL 046-238-4056(代) FAX 046-238-8634

神奈川県農業技術センター企画経営部 (普及企画担当)

〒259-1204 平塚市上吉沢 1617 TEL 0463-58-0333(代) FAX 0463-58-4254

(平成 30 年度作成)



農業生産者とともにダイコンの品種を検討



茶の栽培管理について巡回指導

かながわの農業普及指導活動

かながわの普及指導員って、どんな仕事をしているの？



農産物の加工方法を指導



小麦の追肥検討会の様子



花き生産者への経営管理指導



タブレット型端末を用いて農業生産者とミカン果実の肥大を検討

普及指導員は、農業技術の専門家です。

普及指導員は、県農業技術センター及び畜産技術センターなどの公的試験研究機関や民間企業で開発された技術、品種、資材や病害虫等に関する知見、他地域の生産動向などの情報を幅広く把握しています。農業技術の専門家として、農業生産者のさまざまなご相談にお応えしています。



キャベツの播種・育苗について講習を行う普及指導員



農業生産者へイチゴの技術指導を行う普及指導員

普及指導員は、農業生産者とともに技術を改善しています。

農業生産の現場は多様です。既存の農業技術がそのまま適用できるとは限りません。普及指導員は、農業生産者とともに、最新の農業技術を生産現場の状況に合わせて展示・検討し、現場で生じる個別の課題を解決しています。また、研究者へ現場の課題を伝え、解決を促すことにより、的確な試験研究の推進に貢献しています。



施設キュウリにおける赤ネットを用いたアザミウマの防除効果を農業生産者と検討



かながわ生まれ、かながわ育ちの肉用鶏、'かながわ鶏' (かながわどり)の飼育管理技術指導



ナシのJVトレリス仕立ての接ぎ木を指導
※従来のジョイント仕立てより、低い位置で樹の主枝部を連続して接いだ仕立て法



ICTを活用した温室内環境制御法の検討

普及指導員は、農業で活躍する人を育てています。

普及指導員は、農業を始めただばかりの方のサポート、法人化や雇用促進、GAP※の導入、新たな経営部門の導入支援などにより、経営の発展を通じて地域の農業をリードする人を育てています。

※GAP (Good Agricultural Practice:農業生産工程管理) とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。



農業生産者を対象としたGAP研修会



農場HACCP認証取得を目指す法人指導



新規就農者を個別に巡回指導



新規就農者を対象とした農作業安全講習会

普及指導員は、人と人をつないでいます。

普及指導員は、多彩なヒューマン・ネットワークを活かして、農業生産者同士や、研究者、加工業者、農業団体、流通・小売関係者、消費者、行政、その他の分野の方と農業生産者の交流を促進しています。人と人との信頼関係を醸成することにより、地産地消や6次産業化を支援し、地域の活性化を通して、さまざまな課題を解決しています。



牛乳商品化に向けた取組み支援



小学生を対象とした食育推進活動の支援



電気柵を用いた鳥獣害対策技術を展示